

経済産業大臣賞

眼科用光干渉断層計の研究開発と実用化及び普及

<受賞者>

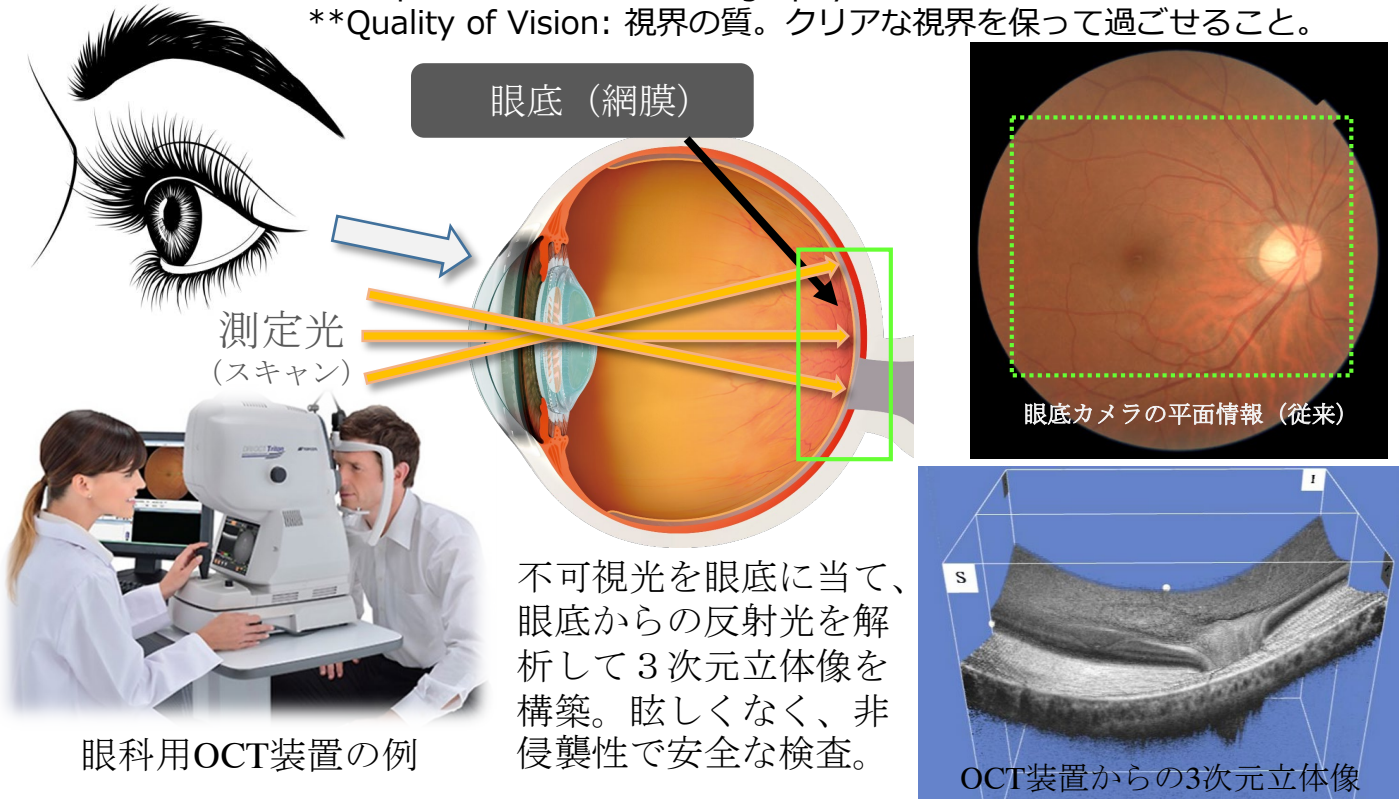
株式会社トプコン（東京都）

<功績>

従来の眼底カメラの平面情報に加え、眼底の高精細な3次元立体像（断層情報）を非侵襲で撮影できるOCT*装置を開発。緑内障等の眼疾患の早期発見および疾患管理に極めて有用な診断装置となり、眼科医療への急速な普及が進み、患者のQuality of Vision**の維持に貢献した。

*OCT: Optical coherence tomographyの略で、光干渉断層計と呼ばれている

**Quality of Vision: 視界の質。クリアな視界を保って過ごせること。



不可視光を眼底に当て、眼底からの反射光を解析して3次元立体像を構築。眩しくなく、非侵襲性で安全な検査。

<概要>

- 眼底診断のために高精細かつ高速で検査可能な新世代OCTを世界に先駆けて開発。日常臨床に欠かせない診断装置として活用され、眼科臨床の疾患管理を格段に向上させた。
- さらに小型化の上、使いやすさを向上させた製品も追加で上市。生産バリューチェーンを構築し、高性能・高品質、経済性を両立させ、全世界への普及を促進した。
- こうした取組により、世界トップクラスのOCT装置メーカーとして、緑内障等の眼疾患の早期発見および疾患管理に有用な診断装置を上市しており、眼科医療への急速な普及と、患者のQuality of Visionの維持に貢献した。